

第9回 元気！健康！フェアで講演を行いました。

平成29年4月1日(土)・2日(日)に仙台国際センターにて、遠藤脳神経外科部長が「脳卒中中で倒れてしまったら～先端治療と再発予防～」、板橋脳血管内科部長が「顔・手・言葉がおかしいときは時刻を確認して119番」について、講演を行いました。両先生の講演には約400名の来場者が詰めかけ、熱心に講演を聴かれていました。

広南病院脳神経外科部長 遠藤 英徳氏

脳卒中 治療法は日進月歩



「脳卒中で倒れてしまっ
たら、先端治療と再発予
防」1日(土)午前10時
～10時半(橋)

日本人の死因で脳卒中は肺炎に次いで4位ですが、脳卒中で寝たきりとなった末に肺炎で亡くなるなど、潜在的な脳卒中による死亡も多
いと考えています。脳卒中は英語で「一撃」を意
味する「stroke」と言います。前ぶれもなく、
ある日突然倒れることもあります。まず予防
が重要で、禁煙をはじめ、高血圧や糖尿病な
どの症状がある人は治療に努めましょう。
発症しても、治療法は大きく進歩していま
す。3人に1人が死亡すると言われる、くも膜
下出血は、早期の開頭手術やカテーテル治療で
助かるチャンスは十分にあります。脳梗塞は新
規薬剤や血栓回収療法が日進月歩です。脳内
出血は内視鏡手術により患者さんの負担が軽
くなっています。(専門は脳卒中外科治療)



広南病院脳血管内科部長 板橋 亮氏

脳卒中 発症時刻の確認を



「顔・手・言葉がおかし
いときは時刻を確認して
119番」2日(日)午後
3時10分～3時40分(橋)

もし脳卒中を発症したら、少しでも早く救
急車を呼ぶ必要があります。突然の顔のゆが
み、片方の腕に力が入らない、言葉が出てこ
ないなどの症状が一つでもあつたら、発症時
刻を確認してすぐに119番してください。
治療方法の選択には「時間」が大変重要で、
脳梗塞の場合、発症から4時間半をタイムリ
ミットに、血の塊を溶かす薬「tPA」を
投与する血栓溶解療法が可能です。カテーテ
ルを用いた血栓回収療法は、6時間以内を目
安に治療を行います。いつ症状が出たのか、
いつ頃まで元気だったのか、確認に努めましょ
う。脳卒中の予防には禁煙、高血圧・心房細
動の治療も大事です。(専門は脳血管内科)

